

日本臨床心理身体運動学会第 20 回記念大会 ワークショップのご案内

日本臨床心理身体運動学会第 20 回記念大会を常葉大学・浜松キャンパス（静岡県浜松市）で開催いたします。今大会のワークショップは 6 名の先生方をお願いいたしました。

詳細は各コース（A～F）の案内をご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

I. ワークショップ概要

日 時： 2017 年 12 月 17 日（日） 9：30～12：00（受付は 9：00 より）

会 場： 常葉大学 浜松キャンパス（〒431-2102 静岡県浜松市北区都田町 1230）

講 師：

- A 山中 康裕 （本学会長、京都ヘルメス研究所、京都大学名誉教授）
- B 名取 琢自 （京都文教大学）
- C 岸本 寛史 （高槻赤十字病院）
- D 高橋 幸治 （大阪府立大学）
- E 前田 正 （ユング派分析家、常葉大学）
- F 高木 紀子 （コミュニケーションサポートセンターふくふく）

受講費：

	予約参加	当日参加
正会員・一般会員	6,000 円	7,000 円
準会員（一般）	6,000 円	7,000 円
準会員（大学院生）	4,000 円	5,000 円
非会員（一般）	8,000 円	9,000 円
非会員（大学院生）	5,000 円	6,000 円

※ 当日参加は、定員により参加できないことがあります。

※ 非会員の参加希望者は、日本臨床心理身体運動学会のホームページから必要書類をダウンロードしていただくか、第 20 回記念大会事務局まで資料をご請求ください（末尾参照）。折り返し必要書類をお送りいたします。大学院生は当日、学生証をご持参ください。

受講資格： 日本臨床心理身体運動学会員。もしくは、臨床心理士の有資格者か、教育・福祉・競技等の現場に携わる者。事例に関する守秘義務を守ることのできる大学院生。大会事務局が承認する者。

II. 各コースのご案内

コース A MSSM、および、MSSM+C 法への誘い

講師： 山中 康裕 （本学会長、京都ヘルメス研究所、京都大学名誉教授）

内容： 2017 年の 4 月、待望の私の心理療法における新法『MSSM への招待』（創元社）が出ました！ MSSM、および、MSSM+C 法のいずれをも紹介している単行本です。ヘルメス研究所の所員でもある細川佳博君の協力で、1 冊の書籍として出たのです！ MSSM 法は 1982 年、MSSM+C 法は 1990 年の創案ですから、最初から数えると、実に、36 年の年月を闊しています。今日、参加して下さる方は勿論、すべての臨床家の方々に、是非、お読みいただきたい、会心の 1 書です！

さて、本日は、その、手引きというか、臨床での実際に役立つために、主に、実習をかねて講義しますので、各自、鈔・糊・パンフレット（駅などにあるものや、雑誌などからの切り抜き等）を、ご持参ください。筆記具やクレヨンは、係の方で用意いたします。

コースB 元型的心理学とドリーム・ワーク

講師： 名取 琢自 (京都文教大学)

内容： ユング心理学のなかでも特に「イメージにつき従う」ことを重要視するのがジェイムズ・ヒルマンらの元型的心理学である。これはユングの着想の源泉となったアクティブ・イマジネーションを継承・発展させる取組みでもある。

ユング派のドリーム・ワークでは、ロバート・ボスナックが早くから日本を訪れ、ワークの方法や事例を学ぶ機会を提供して下さっている。氏のドリーム・ワークは身体感覚や象徴性を手がかりとする体現的ドリーム・ワークへと深化している。

演者はボスナックのドリーム・ワークを学び、これを少人数のグループで主として深層心理学の教育の場面で活用してきた。今回は元型的心理学の基本的な考え方を紹介し、参加者とともに、夢のイメージ世界を再体験してイメージと対話するドリーム・ワークを行えればと考えている。(夢の提供者を募集します)

【参加方法】

- ・参加可能人数は上限 12 名とします(先着順)。このグループを外から見守るフロア見学者も若干名参加可能です。
- ・ワークが安心して行えるよう、秘密を守り、参加者が相互に尊重し合う環境を作ることに協力いただける方のみ参加を受け入れます。
- ・夢の提供者には、夢(長くなくても大丈夫です)のメモを用意していただき、当日は講師と夢について対話しながら、夢世界に入っていくワークを体験していただきます。

コースC 緩和ケア

講師： 岸本 寛史 (高槻赤十字病院)

内容： 緩和ケアに対するイメージは患者のみならず医療者の中においてさえ多種多様である。緩和ケアの提供も、主治医が抗ガン治療と並行して行う場合から、専門のチームが介入する場合、ホスピスで行われる場合、在宅で行われる場合などさまざまである。早期からの緩和ケアの提供ということも強調されるようになっているが、本ワークショップでは原点に立ち返り、死の臨床を中心に据えて概説を試みたい。さらに、緩和ケアにおけるオピオイド、せん妄、感情といったテーマについて、ニューロサイコアナリシスの知見を援用して、従来とは異なる角度から光を当ててみたい。事例検討も行いたいので、受講者の中から事例提供者を募集します。

コースD 学校における緊急支援の心理臨床

ー対応マニュアル(指針)の重要性とマニュアルから自由になることの重要性ー

講師： 高橋 幸治 (大阪府立大学)

内容： 学校で緊急な対応が迫られる事象(自死や事件、事故など関係者の動揺や混乱が予想される事象)が起こった時、教育委員会からの要請で、臨床心理士が緊急支援のために派遣されたり、スクールカウンセラーが緊急支援の仕事を求められたりする場合がある。

そのような突発的で危機的な状況での緊急対応のために、何をすべきか、どのようにすべきかということが、教育関係者や専門家達によって研究され、マニュアル(指針)として提示されている。どうしたらいいかわからない混乱状態で、「何をすべきか」という指針の存在は、強力である。

一方、心理臨床家として、唯一の自分が唯一の学校に、このタイミングで派遣さ

れ、関係者達と出会う、という出会った意味や取り組む意味への眼差しという、時と場所の固有性に注目し、さらにはその支援にまつわる布置を読む姿勢がある。ある現象に対して、「指針に書いてある方法」に従うのではなく、その現象に対して、身をもって関わり、話を聴いていくうちに、自分が直面させられている問題に気づき、独自の支援の方針が見つかることがある。後者の働きに価値を置くことは、心理臨床の専門性であり、他職種にはない独自性である。

本ワークショップでは、上記の二つに焦点を当て、そこでのジレンマを扱う。学校での緊急支援をテーマにはするが、この問題は、広く心理臨床家の仕事について考えることにつながるはずである。

コースE ユング心理学ワールドへの招待 –入門から上級まで–

講師： 前田 正 (ユング派分析家、常葉大学)

内容： ユング心理学について入門から上級まで有意義な学びを提供します。まず、ユング心理学について説明を行います。次いで、タイプ論、言語連想実験、集合的無意識への接近、夢分析等の実際を体験学習をまじえて体得できるようにします。さらに、最近のユング心理学関連論文から、身体性に関するもの、最新の国際分析心理学会に関するもの等を取り上げ、ユング心理学の最前線についても解説します。可能ならば、国際分析心理学会で Hill, J.が紹介した *fairy tale enactment* を応用したユング派グループスーパーヴィジョン（事例そのものの中に参加者が入り込んで心理療法の進展に生かせる内容）も体験できるようにしたいと思います。

※受講者の中から事例提供者を募集します。（事例と面接過程の簡単な概要と、1 番検討したい or ターニングポイントとなった場面でのセラピストとクライアントの逐語のやり取りのみで可）

コースF 自閉症・知的障害者の、ことばの前の世界

講師： 高木 紀子 (コミュニケーションサポートセンターふくふく)

内容： 自らを物語るといいますが、言語で置き換えるということは体験を概念化、記号化することであり、本物では無くなるということである。事実は概念となり客観性は高まるが、実際の物や人とは切断される。“自閉症者や知的障害者（以下障害者）” の場合は概念化の困難さを持つため、言語化することで現実の出来事や感情からより離れやすくなる。言語を用いることが、障害者との心理的交流を成り立ちにくくさせているのである。

非言語的手段など言語に頼らない方法では、障害者自身の内面を共有することができる。イメージを介して障害者の無意識という深いレベルの心の働きを直接的に表現し、他者に直接的に作用してくる。私たちは彼らの世界を知ることになり、彼らは自分自身をわかってもらえた実感を持つ。この実感は自己治癒力を高め、ひいては言語を含めた自己表現力までもが増加し、行動の変容が起きていく。

本ワークショップでは、まず障害者の生きる世界を疑似体験でイメージ共有していただき、合わせて福祉、教育現場における面接事例を通して彼らの世界と変容を共に感じてみたい、と考えている。

Ⅲ. 参加申し込み

次の手順でお申し込みください。

- 1) ワークショップの参加申し込みは、大会の参加申し込みと合わせて行ってください。同封の学会大会「参加申込書」のワークショップ参加希望欄に、希望するコース（第1～3希望まで）をご記入のうえ、**2017年10月20日(金)まで**にメール、または郵送（第20回記念大会事務局宛）でお申し込みください。人数等の都合により、参加希望コースに添えない場合、事前に事務局よりご連絡いたします。
- 2) 同封の「振込取扱票」の通信欄に必要事項を記入し、合計金額を記入の上、**2017年10月20日(金)まで**に費用をお振込みください。振込の際、**必ず参加者ご本人の名義で**お手続きください。なお、入金された諸費用につきましては返金できませんので、あらかじめご承知おきください。受講コース決定通知は、11月上旬に大会プログラムと一緒に送付いたします。

※ **非会員の方へ**：「参加申込書」と「振込取扱票」を使用して参加申し込みと費用振り込みを行ってください。両書類は学会ホームページからダウンロード（pdf/word）可能です。費用の振り込みは、ワークショップ受講費のみをお願いします。12月17日にお弁当（飲み物付、1,000円）を注文することもできますので、その場合は振り込み費用にお弁当代を追加してください。また、非会員の受講コース決定通知（人数が多い場合は会員を優先させていただきます）はメールでご連絡します。

ゆうちょ銀行 口座記号番号：00880-9-154159

加入者名：日本臨床心理身体運動学会第20回記念大会実行委員会

※ 他金融機関からの振込をされる方は、【店名】〇八九（読み ゼロハチキュウ）

【店番】089【預金種目】当座

【口座番号】0154159

- 3) 事前申し込みをせずに当日参加をされる学会員・非会員の方は、大会受付にて申し込みを行ってください。

Ⅳ. 臨床心理士更新ポイントについて

本学会は公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会より承認学術団体として承認されています。そのため、学会大会のワークショップとパネルディスカッションの両方に参加すると、臨床心理士の継続研修の更新ポイントが加算される予定です。詳しくは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の『「臨床心理士」継続研究会 承認申請手引書』をご参照ください。

事前申し込みをされた非会員の方には、ワークショップ会場前の受付で参加名札をお渡しします。上記資格更新時には、その名札（用紙）をお使いください。研修証明書は発行いたしませんのでご注意ください。

日本臨床心理身体運動学会ホームページ

<http://www.rinsinsin.jp/>

日本臨床心理身体運動学会第20回記念大会事務局

〒431-2102 静岡県浜松市北区都田町 1230

常葉大学浜松キャンパス 木村佐枝子研究室

E-mail : 2017mindbody@gmail.com